

エイサーの夜

二揚

1/4



工	中	工	老	四	〇	碇	四	中	工	中	工	五	六
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

碇	四	中	〇	工	中	工	老	四	〇	碇	四	中
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

工	中	工	五	碇	四	中	〇	工	中	工	老
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

四	〇	碇	四	中	工	中	工	五	六	碇	四	中	〇
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

工	中	工	老	四	〇	碇	四	中	工	中	工	七
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

五	七	中	〇	中	合	工	工	五	七	五	六	工	合
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

老	〇	老	碇	四	〇	四	中	碇	〇	老	碇
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

四	〇	合	〇	老	〇	老	碇	四	〇	四	中
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

工	〇	中	工	四	〇	合	〇	老	〇	老	碇
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

四	〇	四	中	碇	〇	老	碇	四	〇	合	〇
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

老	〇	老	碇	四	〇	四	中	工	〇	中	工
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

五	〇	合	〇	工	〇	中	工	四	〇	合	〇
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

エイサーの夜

二揚

2/4

老	ま
○	
佬	に
老	もど
四	り
○	
合	
中	あ
工	の
○	
中	え
工	が

四	お
○	と
四	い
中	の
工	り
○	
中	の
工	う
五	た
○	
合	
四	

五	
○	
○	
中	し
工	ま
工	の
中	か
工	ぜ
七	に
○	
合	
○	ね

五	が
○	
六	い
七	の
六	せ
○	
中	て
○	つきの
工	ひ
○	か
中	り
工	

五	に
○	
合	
○	み
中	ち
○	び
五	か
六	れ
工	て
○	
合	
○	ひ

工	び
○	く
中	た
工	い
七	こ
○	
合	
○	へい
五	わ
○	の
六	い
七	

六	の
○	
中	り
○	
工	い
○	っ
中	ま
工	で
五	も
○	
合	
佬	と

四	わ
中	に
五	っ
六	な
工	ぐ
○	
合	
○	
工	
○	
老	
佬	

四	
○	
四	
中	
佬	
四	
老	
佬	
四	
○	
合	
四	

老	
○	
老	
佬	
四	
○	
中	
工	
○	
中	
工	

五	
○	
合	
○	
工	こ
○	の
中	な
工	っ
四	も
○	
合	
○	し

老	ま
○	
佬	に
老	もど
四	り
○	
合	
中	あ
工	の
○	
中	え
工	が

エイサーの夜

二揚

3/4

四	お
○	と
四	い
中	の
工	り
○	
中	の
工	う
五	た
○	
合	
四	

五	
○	
○	
中	し
工	ま
工	の
中	か
工	ぜ
七	に
○	
合	
○	ね

五	が
○	
六	い
七	の
六	せ
○	
中	て
○	つきの
工	ひ
○	か
中	り
工	

五	に
○	
合	
○	み
中	ち
○	び
五	か
六	れ
工	て
○	
合	
○	ひ

工	び
○	く
中	た
工	い
七	こ
○	
合	
○	へい
五	わ
○	の
六	い
七	

六	の
○	
中	り
○	
工	い
○	つ
五	ま
六	で
五	も
○	
合	
碇	と

四	わ
中	に
五	つ
六	な
工	ぐ
○	
合	
四	か
工	じ
工	や
中	し
工	だ

七	さ
○	
合	
○	じゅ
五	う
○	ぐ
六	や
七	ぬ
六	ち
○	
中	ち
○	しや

工	み
○	とう
中	て
工	ー
五	く
○	
合	
○	む
中	ら
○	に
五	とう
六	ゆ

工	む
○	
合	
○	う
工	た
○	や
六	く
八	が
七	に
○	
合	
○	し

五	ま
○	ぬ
六	い
七	く
六	とう
○	
中	ば
○	か
工	わ
○	る
五	く
六	とう

五	や
○	
合	
碇	く
四	とう
中	や
五	ね
六	さ
工	み
○	
合	
○	

エイサーの夜

二揚

4/4

一、夕焼けが島を染めて

涼風が吹き抜けたら

満月の夏の空に

エイサーの音が響く

この夏も島に戻り

あの笑顔と祈りの謡

島の風に願いのせて

月の光に導かれて

響く太鼓平和の祈り

いつまでも永久に繋ぐ

七月や島に戻てい

昔友語り欲さぬ

大月ぬ下道巡ねー

美童ぬ手舞い美らさ

忘らりみ生まり島ぬ

海ぬ匂い島ぬ情き

二、風や涼さ

十五夜ぬ月

三味とう太鼓

村に響む

歌や黄金

島ぬ云言葉

変わる事や

事や無さみ

この夏も島に戻り

あの笑顔と祈りの謡

島の風に願いのせて

月の光に導かれて

響く太鼓平和の祈り

いつまでも永久に繋ぐ

（結尾重複一次）

（結束）